

4 年度 事務事業評価シート

事務事業名	エコフロー事業		会計名称	一般会計		担当課	学校教育課	
			予算科目	10 款 1 項 2 目	事業番号	4107	所属長名	窪田春樹
事業評価の有無	☒ 評価対象事業 ☐ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）					担当責任者名	福岡富美子	
法令根拠等	まち・ひと・しごと創生法翠小学校エコフロー事業調査委員会設置要綱					実施期間	【開始】	令和／平成 2 年度
総合計画での位置付け	生涯学習都市の創造						【終了】	令和 4 年度(予定) ☐ 設定なし
	生涯にわたり学習できる環境づくり							
総合計画における本事業の役割	まち・ひと・しごと創生に関し、県、企業、市の役割分担の下、当市が実施すべき施策の情報発信する。							
事業の対象	市民及び市内外の関係者			事業の目的		市内外を問わず、当市の地方創生に資するアイデアや取組を情報発信することで、聴衆者自らが地方創生について気づき、地方創生の広がりを作り出す。		
事業の内容 (整備内容)	当市の地方創生に資する取組み及び地方創生に資するアイデアの情報発信を行う。また、3万人が住み続けるためには何が伊予市に必要なかを題材に、県、企業、市の有力者に登壇いただき、支援や助言についてディスカッションする。			昨年度の課題に対する具体的な改善策		新型コロナウイルス感染症の影響により開催を延期した。地域創生課に業務を移管し開催時期を検討する。		

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）							
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目		単位	前年度実績	4年度予定	9月末の実績	4年度実績
財源内訳	直接事業費	0	3,075	△ 3,075	0	0	0	参加者及びweb配信閲覧者	人	0	180	0	0	
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0							
	県支出金	0	0	0	0	0	0							
	地方債	0	0	0	0	0	0							
	その他	0	0	0	0	0	0							
	一般財源	0	3,075	△ 3,075	0	0	0							
職員の人工（にんく）数		0.10	0.10				0.10							
1人当たりの人件費単価		7,841	7,794				7,794							
※ 直接事業費÷人件費		784	3,854				779							
主な実施主体		伊予市		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）										
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	5年間の合計			
						0	0	0	0	0	0			
成果指標	指標	フォーラム参加者及びweb配信閲覧者	単位	⇒	区分年度	前年度	4年度	-年度	目標	4年度				
			人		目標	180	180	-	-					
	指標設定の考え方	フォーラム会場参加者及び広くWEBによるライブ発信を行うことでの閲覧者数	実績		0	0	-	-						
			指標で表せない効果											

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)			地域創生課に業務移管されることとなり協議が行われた。						
事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	3	合計点が	B	事業成果・工夫した点・事業の苦勞した点・課題	事業開始当初は、翠小学校的のエコ改修事業及び環境教育事業の検証報告を地域フォーラムにおいて行う予定だったが、延期を重ね、機構改革にともない、地域創生課に地域フォーラムが業務移管されることとなった。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3	14～15：S 10～13：A 8～9：B 5～7：C 3～4：D			
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	3				
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が	B		
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3	14～15：S 10～13：A 8～9：B 5～7：C 3～4：D			
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 施策推進への貢献は多大である。	3				
		効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 施策推進につなげていない。 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	B		
			コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上らず、効率的な手段の見直しが必要である。 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3	14～15：S 10～13：A 8～9：B 5～7：C 3～4：D			
			市民（受益者）負担の適正	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	3				
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 概ね、施策の目的に沿った事業である。	3	合計点が	A	事業の方向性 所属長の課題認識	☐ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☒ 事業廃止と判断する (判断の理由) 本事業は、翠小学校エコ改修及び環境教育について検証を行い、その結果をもとに地域づくりの推進を図るべく情報発信を行う事業（フォーラム）であったが、コロナ禍の影響を受けてR元から3度の延期を重ね、今年度も長引くコロナの影響により中止を余儀なくされた。持続可能な地域づくりの実現に向けて、地方創生に資する最先端の事例・官公庁からの情報・地方創生へのアイデアなどを来場者と共有できるパネルディスカッションは、非常に意義深いものであったが、一旦事業を発展的に解消することとする。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4	14～15：S 10～13：A 8～9：B 5～7：C 3～4：D			
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4				
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	3	合計点が	A		
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	14～15：S 10～13：A 8～9：B 5～7：C 3～4：D			
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4				
		効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 施策推進への貢献は多大である。	3	合計点が	A		
			コスト効率	5 4 3 2 1 施策推進に向け、効果を認めることができる。	4	14～15：S 10～13：A 8～9：B 5～7：C 3～4：D			
			市民（受益者）負担の適正	5 4 3 2 1 施策推進につなげていない。 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 活動指標の実績も上らず、効率的な手段の見直しが必要である。	4				

施策を踏まえた判断	二次判定	☐	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☒	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。				

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容 ・ 翠小学校におけるエコ改修の成果をアピールするのが本来の目的である。フォーラム開催に目的が変わり違和感がある。 ・ エコ改修で有意義な結果が出ているのであれば、それを外部に発信することにエネルギーを注ぐ方がよい ・ 翠小学校を遠足先として活用するなど、市内の子ども達が自分の目で見て、肌で感じて、交流できる取組があるとよい。 ・ 本来の目的を考えれば、フォーラムを開催する必要性があるわけではない。フォーラムが中止になったからといって、何もしないということも残念である。本来の目的達成に近づくような代替手段を検討すべきであった。 ・ エコ改修の成果をまとめたパンフレットをホームページに掲載するとよい。市民の関心度を上げる一助になると思う。 ・ 古い校舎を改修して、きれいに保存しただけではない。それによって成果・効果が出ていることを発信すべきだろう。
------------	------	--

今後の方向性（ACTION）

の経 最 終 者 判 会 断 議	事業の方向性		コメント欄 フォーラムの開催は、新たな担当課のもとで計画・実施されることになったため、本事業を廃止とする。なお、エコ改修に伴うエコフロー事業は完結しているが、当該事業と同時に実施した「学校の環境と児童の健康・学習に関する調査」が継続していることから、調査結果等の周知に努めること。
	☐	さらに重点化する。	
	☐	現状のまま継続する。	
	☐	見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	☒	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	